

都市再生整備計画（佐久平駅南地区）の事後評価（原案）に対して提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

No.	意見要旨	佐久市の考え方
1	商業地域には大型店舗等いくつかの施設が入っていますが、屋上に太陽光発電パネルを設置して自家消費用に活用している施設はありますか。	自家消費用として設置、活用されている店舗はございます。
2	企業誘致にあたっては、再生可能エネルギー(特に、佐久平の好立地条件を活かす太陽光発電)施設等の設置に関する補助制度等、地球温暖化防止対策を後押しする佐久市の仕組みがありましたか。	企業誘致に限らず、地球温暖化に対する市の取組として、太陽光発電設備・蓄電システム導入に対する補助金などがございます。
3	56.5haという広大な土地開発計画の実施に際しては、土地造成から施設建設、完成まで膨大なエネルギーと化石燃料が使われてきました。 今後も施設運営に多くの電力が恒常的に必要とされ、また、夏期は、エアコン室外機や舗装部分の照り返し等、そこがかつて農地であった時とは比べ物にならない放熱量が想像されます。 これら各種の数値について、計画前・施工中・完成後について試算や比較・検討が成されているのであれば、お示し下さい。	本事業にあたり環境への負荷について、比較・検討は行っていません。 一方、歩道への植栽のほか、公園や広場の整備、地区計画により緑化率を設けるなど、まちなかの緑化を推進しております。
4	地域の賑わいに関する数値を目標値に挙げられていますが、週末になると周辺地域から人々が自家用車で押し寄せて、渋滞さえも生み出している現状が、果たして望ましいかたちなのでしょうか。 市内で一極集中が進み、コンパクトシティという名称のもとで周囲はますます置いてきぼりが加速するのではと危惧しています。	本市は地理的・歴史的背景から市街地が分散した多極構造となっているため、地域間ネットワークの充実を図りながら、地域資源などの特徴を生かしたまちづくりを進めています。 佐久平駅周辺地区は、高速交通網の結節点である特徴を生かし、広域交流拠点として佐久地域を牽引するまちづくりを行っています。 その他の地域についても、都市機能の確保と共に、各地域の強みや特色を生かし地域の魅力を高めるまちづくりを進めることとしています。

都市再生整備計画（佐久平駅南地区）の事後評価（原案）に対して提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

No.	意見要旨	佐久市の考え方
5	<p>緑化に関しては、定められた緑地の割合をクリアされていると思いますが、今まで佐久平駅周辺では必ずしも成功しているとは言い難いなか、植栽の時期・植栽木の適地適木・植栽の方法等について十分に吟味・工夫が成されているのでしょうか。</p>	<p>本事業では、環境や景観への配慮、ゆとりある居心地の良い空間づくりとして緑化に取り組みました。</p> <p>公共施設への植樹にあたっては、実施時期に考慮したほか、市民アンケートの結果から桜を街路樹とした幹線道路では、専門家の意見に基づき気候や耐病性、開花時期を考慮した品種選定や植栽柵の整備を行っています。</p>
6	<p>今や地球温暖化が危機的な状況を迎え、人類のみならず地球上の全ての生き物の命が脅かされています。</p> <p>この状況を生み出す要因の一つでもあった過去の我々の価値観と、それに基づく開発事業の手法を、これからの佐久市の発展の為に更に繰り返すことなく、新たな価値観と手法を模索して、各々の参入企業の判断に一任するのではなく、一步踏み込んで、先進的な街づくりに主導的な役割を果たしていただくようお願い致します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後のまちづくりにおいて参考とさせていただきます。</p>